

岩手労働局発表
令和4年5月31日

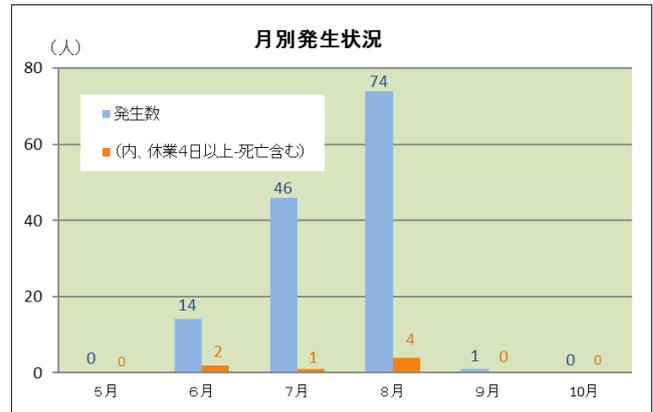
【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 若月 敏幸
課長補佐 すくいそ 瀧磯 寿
(電話) 019-604-3007

熱中症予防対策の徹底を図ります

～「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」～

令和3年の岩手県内の職場における熱中症の発生状況



厚生労働省では、職場における熱中症の発生を防止するため、5月から「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を展開しておりますが、特に熱中症の発生リスクが高まる7月を「重点取組期間」として、事業者に対する取組の徹底を呼び掛けています。

これからの時期、岩手県内においても、気温や湿度が高い中で働く機会が多くなり、例年、事業場で多くの熱中症の被災者が発生しています。

岩手労働局では、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間に向け、事業者に対して熱中症の危険性に対する理解を求めるとともに、別添4の「STOP! クールワークキャンペーン」のリーフレットに示されているチェックシートによる自主点検を促すなど、熱中症防止対策の徹底を求めています。

なお、岩手労働局管内の熱中症による労働災害の発生状況の概要については別紙のとおりです。

県内の熱中症の発生状況のポイント

1 令和3年の発生状況（別添1参照）

ア 月別発生状況

6月から9月の期間に発生しています。

イ 年代別発生状況

20代が最も多く、40代、30代、50代、60代と続いています。

ウ 時間帯別発生状況

午前10時台と午後2時～3時台に多く発生しています。

エ 業種別発生状況

建設業が40%、次いで製造業が26%を占めています。

オ 休業日数別発生状況

休業0日が73%、休業1日～3日が22%、休業4日以上が5%となっています。

2 平成26年～令和3年の熱中症発生状況（別添2参照）

ア 年別発生状況

平成26年～平成29年は、69件から125件の間で推移していましたが、平成30年は急激に発生件数が増加し、246件を記録しました。令和元年～3年は平成30年より減少しているものの、平成29年以前と比較すると、高水準にあります。

イ 月別発生状況

7月～8月に全発生件数の85%が発生しています。

ウ 年代別発生状況

20代が最も多く、次いで50代、40代、30代、60代と続いています。

エ 時間帯別発生状況

午前11時台と午後2時～3時台に多く発生しています。

オ 業種別発生状況

建設業が半数以上の54%を占め、次いで製造業が16%となっています。

カ 休業日数別発生状況

休業0日が73%、休業1日～3日が20%、重篤な容態となるケースは少ないですが、死亡を含む休業4日以上が7%となっています。

3 死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（別添3参照）

ア 年別発生状況

平成6年から28年までの23年間で、8人の労働者が熱中症を原因として亡くなっており、平成22年以降の7年間だけでも5人が亡くなっています。
なお、平成29年以降は熱中症による死亡労働災害は発生していません。

イ 月別発生状況

発生月は、7月が4人で半数を占め、次いで8月の2人となっています。
平成13年の事例のように、5月に亡くなったケースもあります。

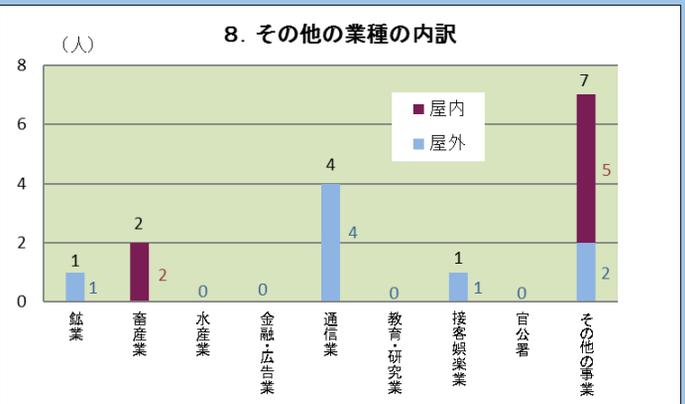
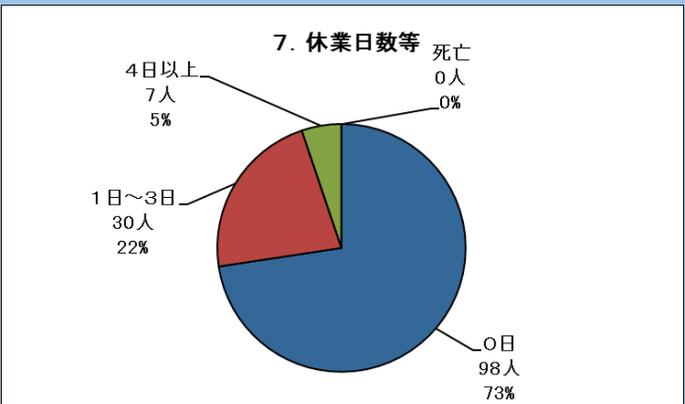
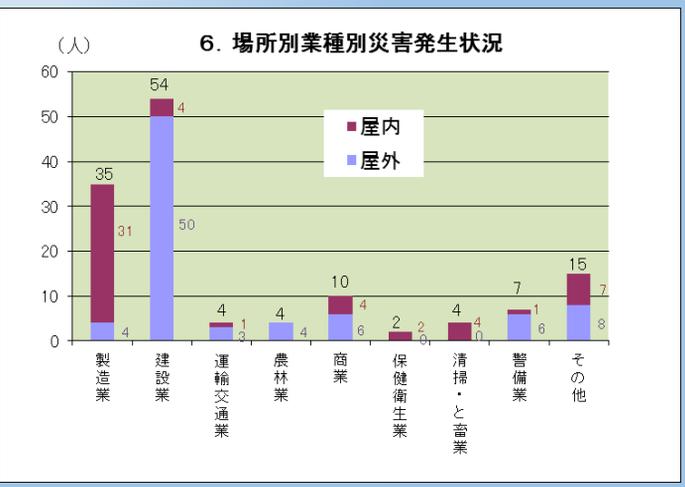
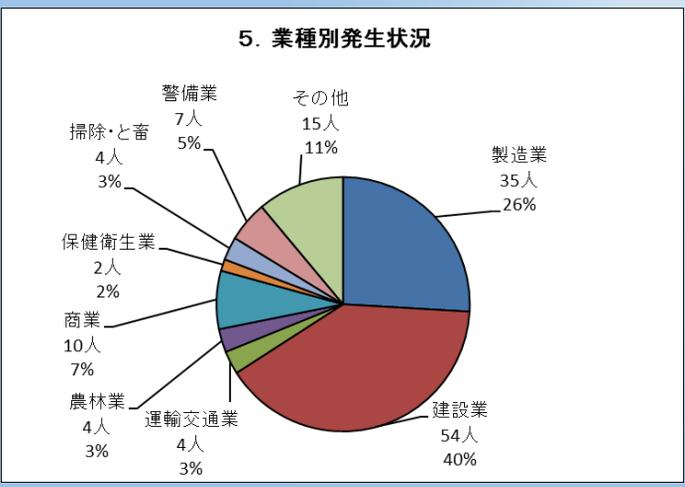
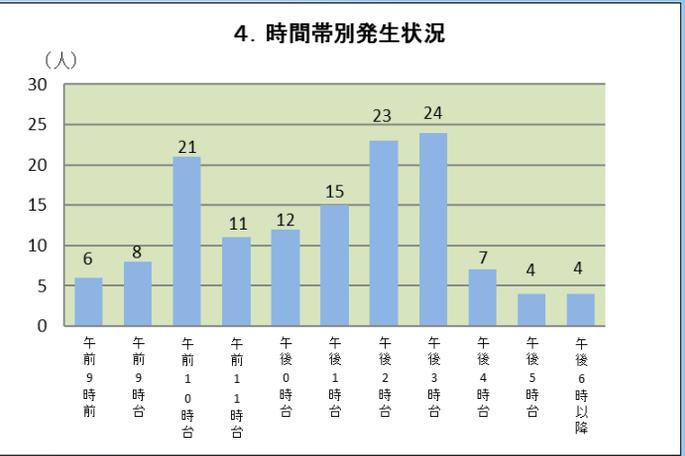
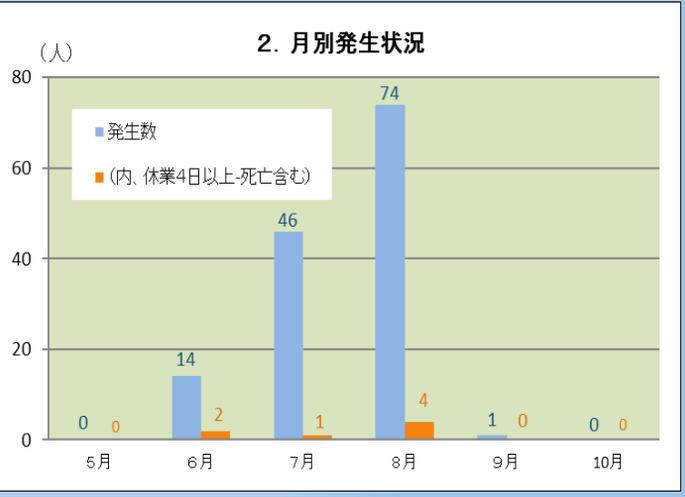
ウ 業種別発生状況

「建設業」が4人で半数を占め、次いで「商業」の2人となっています。

エ 年代別発生状況

20代、30代、50代、60代が2人ずつとなっています。

岩手県内の職場における熱中症の発生状況(令和3年)

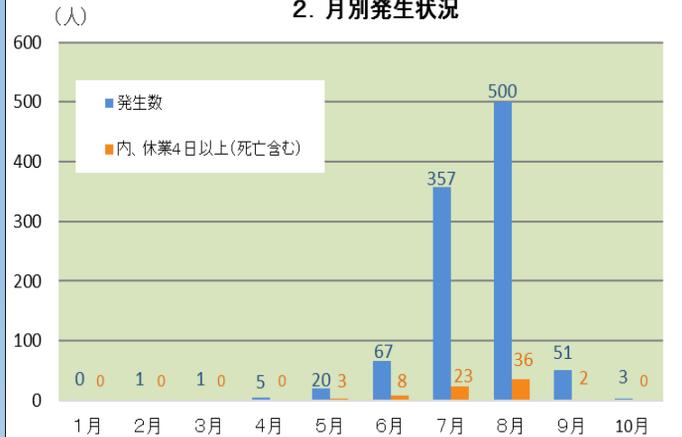


岩手県内の職場における熱中症の発生状況（平成26年～令和3年）

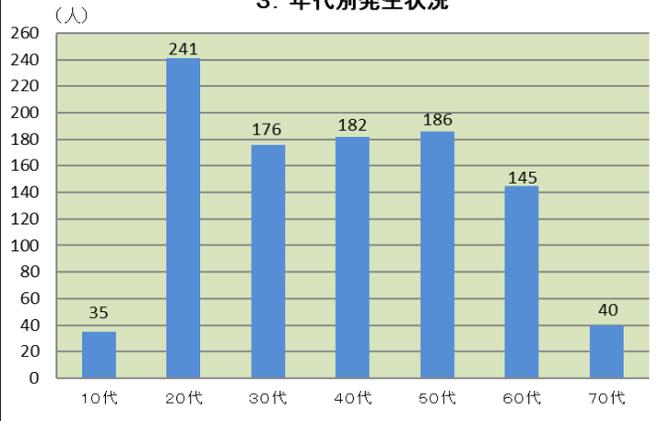
1. 年別発生状況



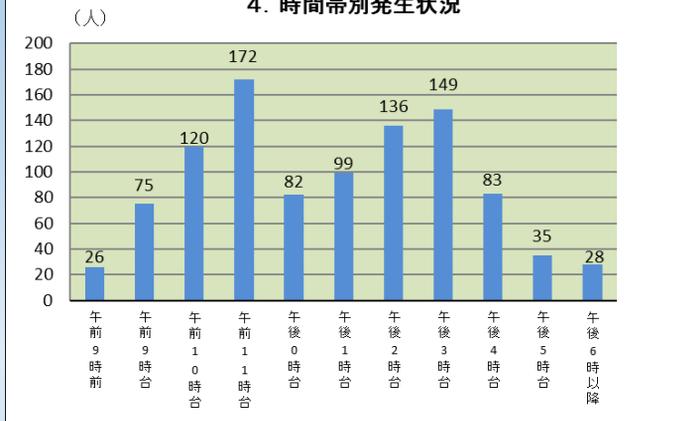
2. 月別発生状況



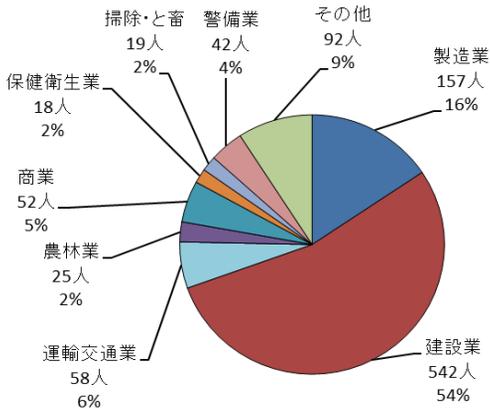
3. 年代別発生状況



4. 時間帯別発生状況



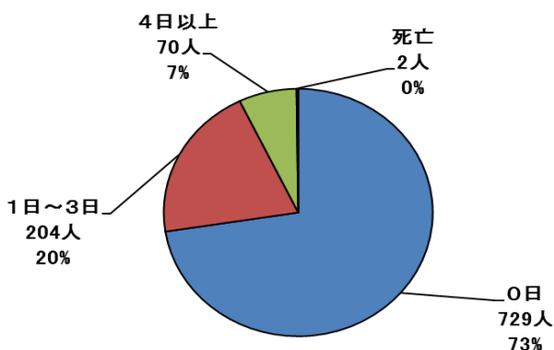
5. 業種別発生状況



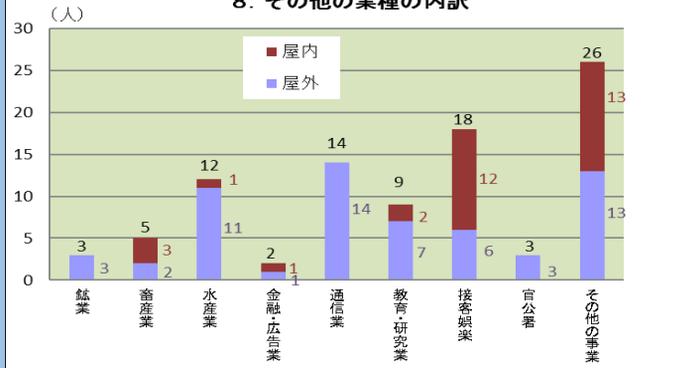
6. 場所別業種別災害発生状況



7. 休業日数等



8. その他の業種の内訳



熱中症による死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（令和4年3月31日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生月	曜日	性別	年代	災害発生の概要
1	盛岡	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	平成6年 8月	水	男	60代	炎天下でマンション工事のスラブ鉄筋配筋作業中、日射病となり治療を受けていたが、12日後に死亡した。
2	一関	林業	平成11年 7月	木	男	20代	下刈り作業中、昼時間になっても休憩場所に戻らないので作業場所に見に行ったところ、意識混濁で発見され、病院へ搬送したが、同日死亡した。(推定原因:熱中症)
3	盛岡	建設業 (その他の建設業)	平成13年 5月	火	男	60代	送電線に近接する支障木の伐木を行っていたところ、熱射病により死亡した。
4	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	平成22年 7月	月	男	50代	橋脚の修繕工事現場において、休憩時間となり休憩場に行く際に、被災者が余った材料を抱えて階段を降りていたところふらついていたため、休憩場に寝かせて体を冷やす等の措置を行っていたが、その後、被災者が道路の方へ歩き道路に倒れたことから、救急車で搬送したが、熱中症により死亡した。
5	宮古	商業	平成22年 7月	水	男	50代	故障したトラックの修理のため走行後のエンジンの上に跨った状態の高温下で故障箇所のアーク溶接を行い、作業を終えて事務所に戻り自分の席に座ったところ、急に呼吸を乱して意識を失い病院に搬送されたが熱中症により死亡した。
6	一関	建設業 (木造家屋建築工事業)	平成24年 7月	火	男	30代	家屋の基礎の型枠加工組立て作業において、休憩中の被災者がふらついていたため現場内で休ませていたところ、被災者の呂律が回らなくなり痙攣し始めたため、救急車で病院に搬送したが、翌日に死亡した。
7	宮古	接客娯楽業	平成27年 6月	金	男	30代	海外研修中、40度以上の高温環境下で熱中症により死亡した。
8	花巻	商業	平成28年 8月	日	男	20代	屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。

STOP！熱中症

令和4年5月～9月

クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**600人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう！



労働災害防止キャラクター **チューイカン吉**

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう！

準備期間（4月1日～4月30日）

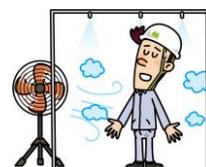
WBGT値の把握の準備 JIS規格「JIS B 7922」に適合した**WBGT指数計**を準備しましょう。



作業計画の策定など WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう**余裕を持った作業計画**をたてましょう。



設備対策・休憩場所の確保の検討 簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、**WBGT値を下げる方法**を検討しましょう。また、作業場所の近くに**冷房**を備えた休憩場所や**日陰**などの涼しい休憩場所を確保しましょう。



服装などの検討 **通気性の良い作業着**を準備しておきましょう。**身体を冷却する機能をもつ服**の着用も検討しましょう。



教育研修の実施 熱中症の防止対策について、**教育**を行いましょう。

労働衛生管理体制の確立 **衛生管理者**などを中心に、事業場としての**管理体制**を整え、必要なら**熱中症予防管理者の選任**も行いましょう。



発症時・緊急時の措置の確認と周知 体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。



【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1

□ WBGT値の把握

JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

<input type="checkbox"/> WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
<input type="checkbox"/> 通気性の良い服装等		
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/> 暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	のどが渴いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
<input type="checkbox"/> プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかり取るようにしましょう。熱中症の具体的症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。	
<input type="checkbox"/> 作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。	

STEP 3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

<input type="checkbox"/> WBGT値の 低減対策 は実施されているか
<input type="checkbox"/> WBGT値に応じた 作業計画 となっているか
<input type="checkbox"/> 各作業者の 体調 や 暑熱順化の状況 に問題はないか
<input type="checkbox"/> 各作業者は 水分 や 塩分 をきちんと取っているか
<input type="checkbox"/> 作業の 中止 や 中断 をさせなくてよいか



□ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・ いったん作業を離れ、休憩する
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょう。

